02

3次元空間情報基盤による デジタルツインへのパラダイムシフト

プロジェクト実施者	宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合、LocationMind株式会社、株式会社ゼンリン、Intelligent Style株式会社、スウィフト・エックスアイ株式会社

プロジェクト概要

Ouranos Ecosystem

3次元空間情報基盤を開発

空間IDに紐づけた様々な情報をデータベース化し、

その情報を業界・企業を越えて活用するための3次元空間情報基盤を開発します。

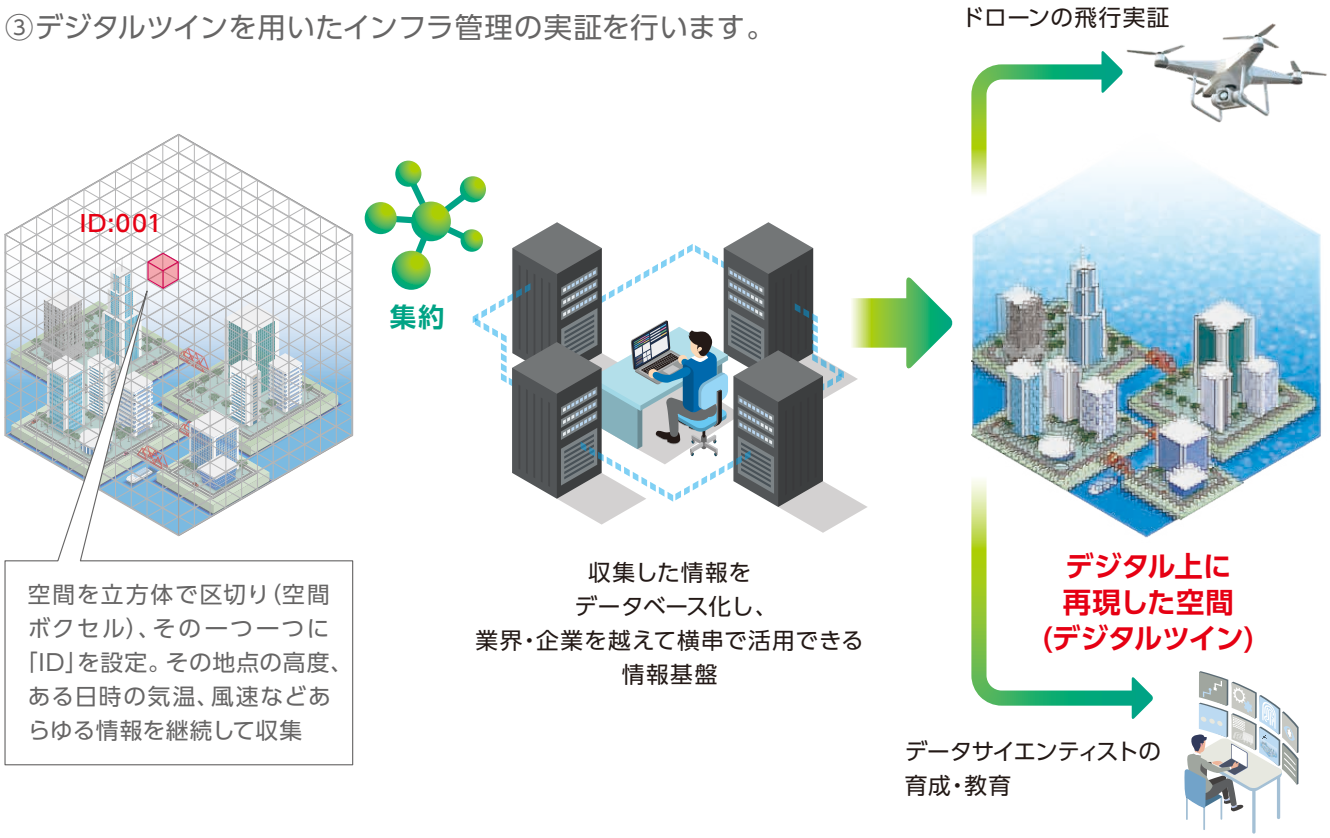
空間IDとデジタルツインを組み合わせて各種実証

具体的なユースケースとして、

①ドローンでの自律航行に向けた安全・効率的な飛行実証、

②デジタルツインを活用するデータサイエンティストの育成、

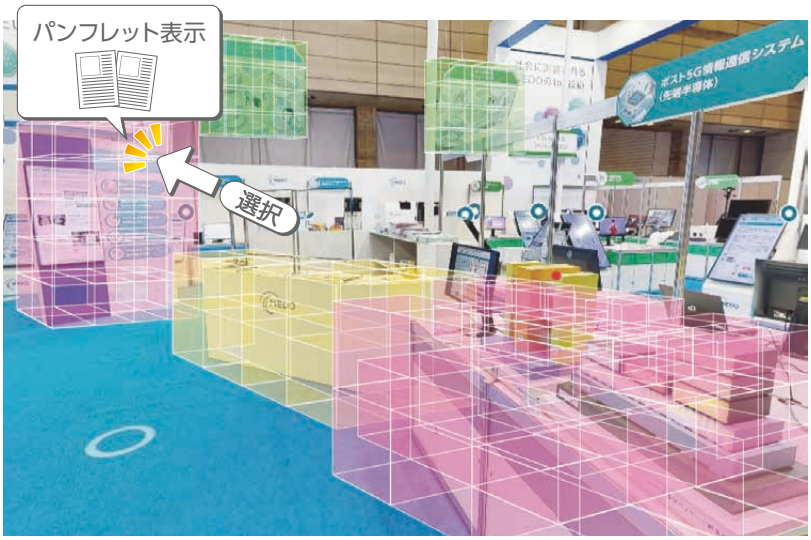
③デジタルツインを用いたインフラ管理の実証を行います。

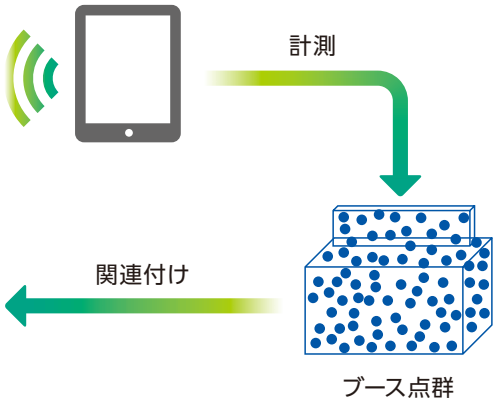


展示物紹介

空間における任意の箇所（空間ボクセル）を可視化します

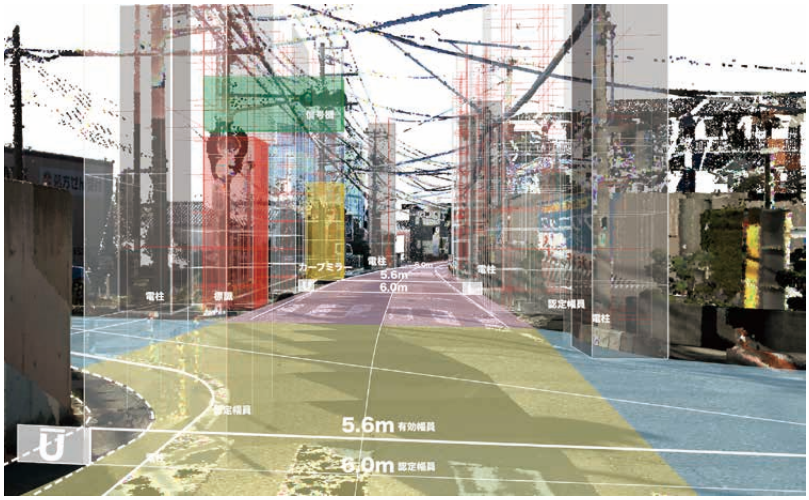
- 例として展示会場を事前計測し、物を示す点群に分解
- 点群上に空間ボクセルを配置
- ボクセルを認識し（例：パンフレット）紐づけ実行
- 簡易LiDARを用いて計測した空間ボクセルの即時可視化





iPadを用いて計測した点群データの関連付けイメージ

※NEDO提供の画像（https://www.nedo.go.jp/events/IT_100083.html）を基に加工



道路空間における空間ボクセルの関連付けイメージ

※点群データを用いた公共構造物の維持管理推進委員会の発表資料より抜粋

プロジェクト実施期間	2022年度～2024年度
NEDOプロジェクト名	産業DXのためのデジタルインフラ整備事業／3次元空間情報基盤に関する研究開発／ 情報容量が可変するセマンティックデータ連携空間IDからなる3次元空間情報基盤構築と 基盤を通じた二拠点でのドローン自律移動の安全・効率的な運行の実現
お問い合わせ先	**宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合** ✉ event@ssil.jp